

理数離れの対策が言われていないので  
賛成ではあるが、充分ではないと思う

# ビジネス情報論 9 060612

異なる図を1つにまとめるのは難しかったが、  
同じキーワードに注目しながら図解すると  
なんとなく全体的な流れをつかんだ図になった  
伝えたいことの全体像がはっきりしてきた

自分は筆者の考えの一部分を賛成する  
グループワークで先生の考えを少し  
教えてほしい やはりクラスメート皆の  
レベルはある程度限界がある

大局的に図をとらえられていなかった 国家  
の品格は最初に読んだ時、あまりにも  
内容が偏りすぎていると思った しかし  
「読書」の必要性を論理的に述べている  
ような気がしたので、その点では賛成したい

藤原さんが「現代の日本に必要な  
なもの」について述べていると思った  
「武士道精神」と「国家教育」の2つだ  
私は藤原さんの意見に賛成だ

つくづく自分には論理的思考が不足して  
いると感じた 残りの授業はきちんと  
出席し、実りある時間にしたい  
藤原さんの図解に対して私は賛成だ  
充分に言いたいことがわかるからだ  
付加する情報により背景もわかったので  
多少頭をやわらかくして考えれば良いと思う

賛成 看護職は、心と体だけで、行われて  
きたことが多く、だからこそ科学的な根拠  
を明確にすること作業が急速に求められて  
いるのだと思った 「国家の品格」を図解  
することで看護界の現状まで考えが及ぶ  
なんてすごいと思った 国家の問題、  
医療の問題とを分けて考えていたことに  
気付いたし、回を重ねるごとに収穫が  
増えていくことがうれしい  
藤原さんの図からはピンと来なかった  
けれど、ディスカッションすることで  
わかってきた

私はどちらかという賛成である  
教育の建て直しの部分ではまだ足りない  
と思う点がある 学校だけでなく家庭での  
教育に対する対策も示していくべきだと思う

藤原さんの意見に賛成 武士道精神  
と国語力をあげることはいい部分が多い  
矢印をどう使ったらよいかわからなくなった  
自分の図が腑に落ちないときは、もとの  
文章にも何か不足点があるかもしれないと  
思っても良いということを学んだ

心が大事 国に置き換えると めんど  
うなので、個人としてとらえるとわかりやすい

私は賛成派だ 今失いつつあるもの  
(意欲・知力・体力)をいかに持続するかが  
私の課題となっている がんばる

賛成派だ 何度図解してみてもこの方は  
何を結論としているのかわからない  
明確な結論がわからないと本当に賛成  
とは言い切れないが、私は一応賛成だ

図を読み取る力がついてきた図についての  
理解が深まることに楽しくなってきた

この筆者に反対 先生の心・技・体の話  
を聞いて、賛成から反対へ転じることにした  
国を建て直すのであれば頭と心だけで  
なく体も強化していくべきだろうと感じた

藤原さんの考えは現代社会の問題点の  
一部を言い当てている しかし「情緒」教育  
の具体例だけで、国語力強化だけで、  
問題点の解決はできないように思える  
武士道ないしは、ナイト精神は民主主義  
に背くように思えるので、この点の強調  
には同意しえない

今までで一番難しかった 人がまとめた  
ものをまとめることは本当に難しいと思う  
自分は筆者の考えに賛成だ もっと  
国語の学習時間を増やしてもいいと思う  
武士道復活が日本国家の建て直しに  
つながるかどうかはよくわからない

賛成できる部分もあるが、ベストセラーに  
なるような万人にわかりやすい説明に  
なっているとは思えない 武士道精神の  
復活と品格のある国家のつながりがよく  
分らなかったが、頭と心という事で  
考えれば、すっきりできた

筆者の言う、我慢力の低下の問題について  
私は同意見だ それを立て直す為の  
選択肢は活字文化(読書)だけではない  
と思う 例えば、伝統芸能の能や、歌舞伎  
というもの武士道精神であり、情緒は  
祖国愛に繋がっていくと思う また、  
国語教育の質の向上のためには、教育者  
の能力の向上も必要不可欠であると思う

どちらかといえば、賛成だ でも筆者は  
読むことに重点を置きすぎだと思う

4つの図を1つに集約するというのは  
簡単そうに見えて実は、文章を  
分析、図解するより難しいと思う

筆者に反対だ 読書することと、書いたり  
話したりしたりすることと比較すると  
その比較は間違っていると思う 話を  
したり人の言うことを聞いたりしない  
のでは情緒を培うこともできないと思った

論理性に劣る著書である 「論理」+  
「情緒」+「武士道」なるもの重複する  
「何か」に関して説得力にかけると評価  
する 本の中であげる事例も客観の欠落が  
多く、信用しがたいので筆者の意見に  
全面的に反対

「国家の品格」はなんだろうか  
非現実すぎではないかと思った 自分も  
筆者に賛成するところは多いが、完璧  
すぎて現実的ではないと思った  
自分は筆者の考えに反対だ 昔のもの  
を復活させて、今の時代に通用するとは  
かぎらないと思う

反対 国語教育が読む:書く:話す:聞く  
= 20:5:1:1の割合にするというのは  
少しおかしい 論理的に物事を組み  
立てて考えるようになるためには、  
書くことと話すことがもっと大切だからだ  
論理的な考え方は身につけにくいと  
思う

講義を何度か受けた上で、教科書にも  
なっている先生の本を読み直したら、以前  
読んだ時より頭にスムーズに内容が  
入ってきた

賛成だ 独立・道徳・田園・天才とまとめて  
いる しかし、「情緒・形を重視」の中の  
「形」についてはうまく理解できなかった

子どもは親の背を見て育つので、武士道  
精神や我慢力の教育は子どものみで  
なく、大人にも必要であると思う

今度はもう少し身近で興味深い議題を  
図で示したい

人間は理論で指導するわけではなく、  
自分の情緒もある部分で左右する  
だから、それを重視しないとだめだと思う

自分は藤原さんの意見はすべて賛成が  
できない 社会や親の教育は学校教育  
よりもっと大切だ 国語教育すれば、情緒  
を培うことができるかどうか疑問だ

今まで読んだ本や新聞の内容をきちんと理解  
できていなかったのではないかと

筆者の意見に反対 国語力が高いだけで  
そんなに世の中が大きく変わってしまう  
のだろうか そのあたりがいまいち理解  
できなかった 先生の提示した図解はすく  
わかりやすい これからの参考にしたい

今回の図解を通して、自分の  
理解力の乏しさを実感した 自分の言葉  
に置き換えるに至っていなかった

筆者の意見に反対だ 国家の品格を  
維持、増強するには論理による教育のみ  
で充分だからだ 情緒とは個人の「価値観」  
である ゆえに、客観的でない 客観的  
でないものは、普遍的でない  
普遍的でないものを基準にするわけには  
いかない

筆者の意見には大筋賛成である  
武士道の精神を復活させて、藤原さんの  
極論にも近い理想を体言すれば、  
すばらしい日本になるのかもしれない

論理ばかり大切に西洋の限界  
前回の話に通じるポストモダンを考えて  
いかなければならない反対! 人の気持ちを  
無視した論理はやだ! 特に医療の面で!

賛成だ 武士道精神とはビジネス、医療  
と多岐にわたって必要とされることだから  
賛成だ 最高の形である 心・技・体  
にするのは今の時代心がおろそかになっ  
ていると思う 心の教育が必要だ